

# 経営比較分析表

熊本県 和水町

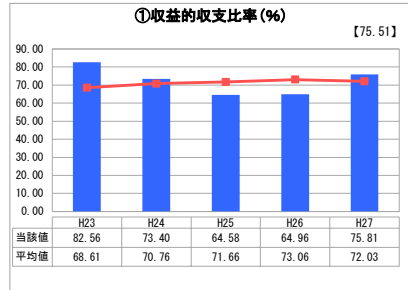
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	13.82	3,490

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,713	98.78	108.45
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,471	1.84	799.46

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

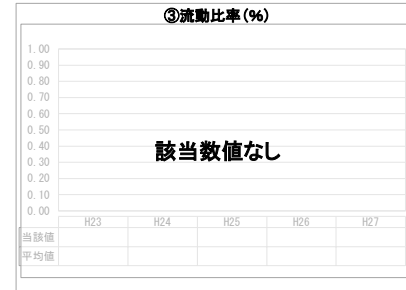
## 1. 経営の健全性・効率性



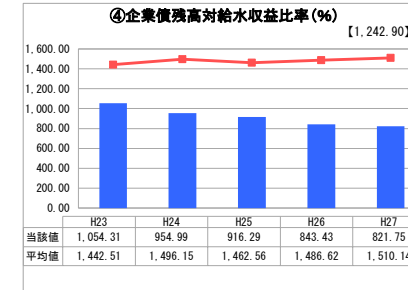
「単年度の収支」



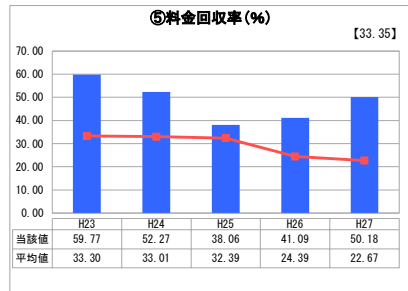
「累積欠損」



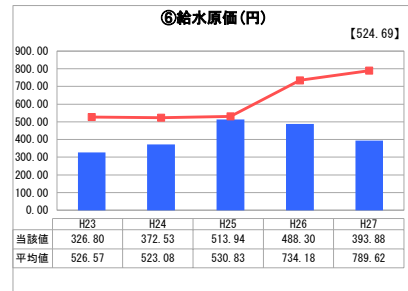
「支払能力」



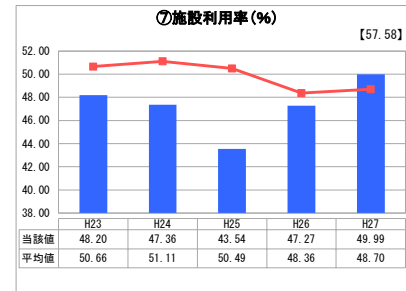
「債務残高」



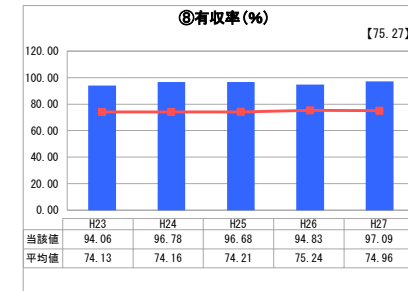
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

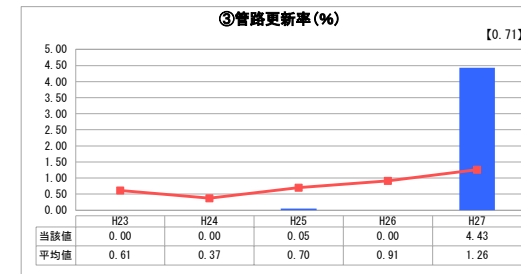
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、平成25年度から事業統合に向け事業を開始し、平成27年度より国庫補助事業で配水工事を実施していることから上昇している。  
また、料金に関しても、当町は県内でも高い料金設定となっているが、町全体の普及率が低く、自家用井戸の併用世帯が多い為、収益があまり上がらない状態である。  
今後は施設老朽化により維持管理費用も増加していくことから、料金の見直しを視野に入れながら経営を行っていかなければならない。

### 2. 老朽化の状況について

当町の水道管は、平成元年度より整備されており、一番古いもので28年を経過している。  
他団体に比べれば比較的新しいため、老朽管の更新は行っていない。  
今後は、管路の種類や施工年度により優先順位を決定し計画的に進めていく必要がある。

### 全体総括

年々維持管理や起債償還など厳しい状況にあり、施設設備も少しずつ更新の時期を迎えている。  
管路についても、更新計画を立て計画的に少しずつ布設替えを行っていく必要がある。  
今後は一般会計からの繰入金が無ければ経営が成り立っていない状況だが自家用井戸から簡易水道への切り替え等の加入促進を行いながらコスト削減に取り組んでいきたい。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。